

# 海難と救助の南伊豆

## －ニール号沈没事件とその前史－

添田 仁（茨城大学）

### 1、ニール号沈没事件

(1) 明治7年(1874)3月20日夜 フランス郵船ニール(NIL)号沈没(入間・妻良沖)

メッサージュリー郵船会社、汽帆船、全長98m・高さ41m

附属船員60名、雇入れ船員21名 →4名が救命ボートで脱出

※吉田忠七…京都西陣再興のため、リヨンでの技術研究、織機購入

(2) ウィーン万国博覧会(1873年5月1日～11月2日)の名品193箱

→68箱のみ引揚げ/2004年5月に引揚げプロジェクト(水中考古学)も

(3) 海難への対策・対応

○不馴れな新政府(佐野常民) [角山1998]

「ニール船沈没一条は、実以テ驚嘆之至り、何共申進様も無之次第、実に難再得之宝器竝容易に採集シ難キ博物館用交易品等、一朝に失却致候ノミナラス、又海上請合も相立置不申、今更失策之段千悔致候ノミ」

(「澳国博覧会出品ニ関スル報告書」、1874年4月20日)

○手馴れた南伊豆の浦人たち [鈴木1980]

・保護、介抱【史料1①】

・船荷物の探索と引揚げ

「流寄ノ品々ハ最寄海岸筋エ布達、取揚、用立ノ品ハ相纏メ神奈川県へ向、遞送致シ呉候様申之に付承諾」(『県治紀事本末』)

「船荷物引揚方ノ儀格別骨折候」の「手当下賜」(『県治紀事本末調査材料』)

・死者の埋葬【史料1②③】

## 2、南伊豆の海難と救助、その前史

### (1) 長津呂村(浦)と「石廊崎小沢氏所蔵文書」

○長津呂村(浦)の概要(『角川日本地名大辞典』)

天保郷帳 65 石余

慶応 4 年(1868) 家数 73、人数 391

天保 13 年(1842) 家数 75、人数 330

寛政 12 年(1800) 小せり船 2、漁船 2

天明 4 年(1784) 医師 1、船大工 1

※八丈島への御用船、湊明かし堂番人

★廻船 70~80 艘、「宿泊施設兼娯楽施設」27 軒 [西村 2012]

○海難と救助の記録【表：長津呂で救助された難船一覧】

※「石廊崎小沢氏所蔵文書」にのこされた海難関係史料

→南伊豆町南史会(渡辺守男氏)『長津呂浦における海難文書』(1999 年)

- ・東は奥州南部、西は薩摩まで、全国各地の港に籍を置く千石船が入港
- ・多彩な積荷 とりわけ御用荷物は重要

○海難の種類

火事、破船、漂流、港内破船・・・

### (2) 長津呂での海難と救助ー摂津兵庫重兵衛船の海難からー

文久 3 年(1863)9 月 25 日 沖船頭善太郎 37 歳ほか 14 名、千石船か  
「浦手形控」(石廊崎小沢氏所蔵文書)

○遭難の瞬間【史料 2 A】 勿ね荷、神頼み

○浦人による救助【史料 2 ①②③④】

①白い布を掲げて合図をすると、長津呂から「曳船」到着

②船宿で介抱(村預)、村役人への連絡

③荷物の管理(「縄張」「封印」「合番」) ※「浜囲」【史料 3】

④飛脚の手配(葦山役所、江戸荷主)

○積荷の被害と浦の対応

浦人による買い取り、入札

酷な「村買請」【史料 4 ①】 → 「御国恩」のために身を切る【史料 4 ②】

○ 苦悩する沖船頭、疑われる海難と自殺

・ 文久3年10月4日 沖船頭善太郎の自殺【史料2⑤】

→ 10月27日 正眼寺に「仮埋」していた遺体などを廻船問屋へ

★ 港と周辺の人びとの努力と忍耐と連携に支えられていた、近世の海難と救助

## むすびにかえて

・ 明治32年(1899) 水難救護法公布

← 明治8年(1875) 西洋の海難救助制度を輸入して検討 [金指 1967]

・ 元和7年(1621)8月「定」(『徳川禁令考』)【史料5】

→ 「遭難物占取」の禁止、海難救助の義務を明記

→ 現場で実現し続けた南伊豆の地域社会／近世以来の慣習法で救助されたニール号

### 【主な参考文献】

金指正三『近世海難救助制度の研究』(吉川弘文館、1967年)

川島秀一「海難と供養」(『民俗文化』25、2013年)

酒井中「海難資料と沈船」(『金大考古』、2010年)

鈴木保「明治七年三月二十日仏国郵船ニール号遭難事件顛末」(『葦山町史の葉』4、1980年)

鈴木幹人「「公私有書記」に見える海難事故処理について—寛政十二年海難事故を手がかりとして」(『東奥文化』82、2011年)

角山幸洋「仏国船ニール号の沈没」(『(関西大学) 経済論集』48-2、1998年)

西村慎太郎「石廊崎の古文書・文化と歴史資料の継承—NPO 法人歴史資料継承機構の紹介—」(NPO 法人歴史資料継承機構編『南伊豆を知ろう会 2007』、2012年)

春名徹「近世から近代への過渡期における海難救助と費用負担」(『海事史研究』71、2014年)

渡辺守男ほか編『石廊崎小沢氏所蔵文書 長津呂浦における海難文書 天和年間より明治初期まで』(南伊豆町教育委員会、1999年)

## 【史料編】

【史料1】「明治七年三月二十日仏蘭西郵船ニール号遭難始末記」

(明治四〇年頃に外岡誠一郎記か)

時ハ明治七年季ハ陽春三月廿一日ノ仏曉、某士門ヲ叩イテ曰ク、嗚呼憐ム可シ、彼ノ白色人種一名、シャツ一枚ヲ着シテ我入間海浜ニ漂蕩スト、吾人ノ嚴父外岡文平、方今乏シキヲ戸長ニ享ケル者、之ヲ耳朵ニシテ大ニ驚愕斜ナラズ、即チ往イテ彼ニ接シ、其ノ事由ヲ問ハント欲スレドモ維新已来年ヲ閱スル、未ダ七歳東西洋ヲ異ニスル者、敢テ言語ノ通ズルナシ、彼レ漸ク手ヲ以テ遭難ノ状ヲ示シ、風浪高キ処断崖を攀ヂテ、漸ク此ニ漂蕩シタル所以ヲ説ク、①戸長始メテ其ノ愍状ヲ想ヒ、同人ヲ自宅ニ伴ヒ来リテ充分ナル保護ヲ与へ、然ル后自カラ人夫ヲ引率シテ海岸ヲ巡檢スレバ、当地先海面三ツ石ノ内白根近辺ニ汽船ノマスト二本傾摧シテ圍々漂々タルヲ認め、歩一步ヲ重ネテ漸ク字御手浜ニ至リ、②二人ノ死体ヲ発見ス、一ツハ清国人、一ツハ仏人ナリ、戸長即チ人夫ニ命ジテ之レヲ前浜ニ廻送シ、樽中ニ詰メテ以テ脚夫ヲ足柄県庁ニ派シ、其ノ所以ヲ届出スレバ異邦人ノ遭難、大ニ等閑ニ附スベカラザル旨ヲ以テ県令柏木忠俊殿、県属十名ヲ伴ヒ、拙宅ニ出張、其ノ救済業務ニ敏タリ、弥来短艇ニ塔ジテ隣邑妻良村吉田海浜ニ漕ギ寄セタル三人ノ遭難者ハ、同地人民ノ厚キ保護ニ依リテ九死ノ中ニ一生ヲ得タリ、之レ亦拙宅ニ收容シ、都合四人ノ生存者ヲ得タリ

(中略)

此ノ溺死者ノ携帶品併ニ難破船積荷ハ県属前田氏取調及上尽ク神奈川県庁へ廻送ス、其ノ後前記県属折原直敏氏ハ依命帰庁、残務ハ前田県属及び我親父外岡文平ニ依託ス

其ノ後仏国公使館ヨリ同船難破救恤ニ対シ県庁及び前田甲竜、戸長外岡文平ニ賞状下附セラレタリ

(中略)

尚③溺死者埋葬ノ事ニ付テ八里中海蔵寺住職北邨讓山氏モ大ニ尽力シタリキ

(後略)

【史料2】「浦手形控」(小沢氏所蔵文書)、文久三年(一八六三)十月

摂州兵庫重兵衛船

沖船頭善太郎十五人乗

浦手形控

(中略)

摂州兵庫港重兵衛船、沖船頭善太郎并水主・炊共拾五人乗組、於同所町人江戸送荷物酒・味林・烏賊積請、当八月廿二日北風ニ而積所出帆、所々入津・滞船、去月十二日当浦江入津、日和待滞船罷在、同廿四日四ツ時頃西風ニ而当浦出帆、段々走下り、同夜四ツ時頃初島沖合江乗掛候処、艮風ニ被吹当、俄ニ大糶合、暫時高浪立候ニ付、一同手配、浪圍等入念厳重ニいたし罷在候内、風弥増、高浪烈敷、左右方艫を打越、風波ニ立被揉立候ニ付、碇壱頭芋綱結付、たらしに為引、帆散々被吹破候ニ付、相下ケ凌居候内、浪圍被打破、上積荷物崩出し候ニ付、一同周章、種々手配仕候得共難留、猶風波烈敷、表之方上積崩候ニ付、艫之方足入多く、船同方江かしき如何とも致方無之、A 粮米・手道具刎捨候得共、更ニ起直不申可凌体無之ニ付、大切之儀とは乍存無抛両狭屋形下ニ有之荷物刎捨漂凌居候得共、兎角高浪打込、船底方は入湊夥敷、逆も此分ニ而は船難保、助命も無覚束、一同手段尽果、必至と神仏江祈願、乍籠淦汲捨、精根限り相働漂罷在候処、信心之加護ニ

候哉、翌廿五日曉七ツ半頃方追々海上穩ニ相成、川津沖合ニ而夜も明、一同得力破帆巻揚、任風様湊取心掛乗走、当浦沖合江漂来候ニ付、①招を揚候処、曳船数艘追々漕付呉、右助力を以同日昼四ツ時頃当浦江被引込、一同安堵仕、其段②船宿を以拙者共方江相届候ニ付、即刻一同罷越、船中見届、立会之上③捨残荷物繩張・封印之上、船方・村方合番被申付取締いたし、助船之者は一船毎村役人巨細相改、為引取、其段④葦山御役所江御訴江戸荷主方江ハ飛脚差立候処、今般御手前様被成御出役、元船并積荷物御見分之上、猶増御封印被成、御取締向嚴重被仰渡、私共身分御吟味中村預ケ被仰付、一同相慎罷在候処、沖船頭善太郎儀、当月四日朝五ツ時頃船宿惣助方江用向有之趣ニ而陸上り致候ニ付、四ツ時頃水主徳兵衛迎ニ参り候処、惣助申聞候は今朝相見江石室山江参詣致度申ニ付、慎中ニも候間止メ候様相断候ニ付、同人方立出候旨ニ付、直石室山江罷越相尋候得共不出会、若外船江用向有之参り候哉と存、船々相尋候得共、何レニも不居ニ付、船中江立戻り、一同相咄候処、心配いたし、猶又松兵衛・音吉・米吉三人ニ而⑤石室山江罷越、所々相尋候得共不知ニ付、返り掛り脇細道ヲ下見候処、宇水窪と申所ニ而首縊相果罷在、驚、其段船宿惣助江申聞、村役人方御訴申上候ニ付、早速御見分有之候通ニ而、善太郎儀ハ当年沖船頭ニ相成、何角心配而已いたし居候処、此度之難事悉く心配いたし、殊ニ多分之荷物海中捨相成、荷主江対し申訳無之と存、風と為取昇、前始末および候儀も可有之、外何ニも怪敷様子風聞等無之、一同氣之毒ニ存罷在、右ニ付何方ニ対し候而も申分無御座旨逸々申上候事

右之通申上候処、当浦出帆之節類船は無之哉、海上乗馴候身分、日和見定方不行届等閑之乗方いたし候様相聞、所々入津無謂滞船いたし心障り有之、日和ヲ無理ニ乗拔度存候敷、或は雑事ニ殊寄、沖合ニ而廻船等江馴合、不正之取計は不仕哉、当浦助船之者共并船宿、其外之物共と馴合、蜜々荷物売払、又押隠、沖船頭善太郎

一同申合、不正筋取計候儀ニは無之哉、右ニ付同人申訳無之と存、前始末およひ候儀ニ無之哉、右様之儀隠置、又は船頭所持之金子、其外取隠候義無之哉、後日於露頭は重科可被仰付儀ニ付、有体可申上旨、再忖御吟味ニ御座候

(中略)

文久三年亥年十月廿五日

江川太郎左衛門御代官所

豆州賀茂郡長津呂村

百姓代 辰蔵

組頭 與仁右衛門

名主 勝次郎

江戸町方積合荷主中

【史料3】「差上申御請書之事」(小沢氏所蔵文書)

安政三年(一八五六)九月

差上申御請書之事

去月廿五日夜、大風雨・高浪・時化之砌、当村湊内におゐて御城米船壹艘外拾七艘、一時皆破船およひ候段奉訴上候ニ付、今般御見分御吟味御取調として被成御出役場所御見分、即日①御旅宿におゐて村役人・村年寄一同被召出被仰渡候は、此度難事之儀は常■之難船方事替り、②湊内之難風船々浜先江被吹付、數艘之破船諸荷物散乱、船具・船滓山之如く海岸・通路も塞り候程之儀ニ而縄張・封印も難及、中々以目之届候筋ニ無之、不安心千万存候得は、守り方堅固ニいたし候方外、手段不可有之、然ル上は村役人・村年寄共精根を尽し、無油断目を配り、大切ニ取締可仕旨嚴重被仰渡承知奉畏候、且又被仰聞候は③風様ニより入津船々之儀は格別、近浦々方小舟・てんま等漕来候儀堅く可禁旨被仰聞候ニ付、

此儀は村役人共々兼而近浦々江廻状差出、御用相濟候迄は小船通  
用差止候段御答申上候、猶又被仰付候は村内東西入口江木戸相建、  
番人付置締り方可仕旨被仰渡、是亦承知奉畏候、都而被為入御念  
候御取締筋御利解一同有難仕合奉存候（中略）

辰九月

村役人

年寄

船宿

【史料4】「覚」（小沢氏所蔵文書）、安政三年（一八五六）十月

覚

御払米 四拾四俵 但、蒸痛米性無之

内貳拾七俵 乱俵 但壹俵貳三升方八九升位砂交入

一 金壹両二付 米貳拾壹俵九分

内貳分 御吟味二付増

残貳拾壹俵七分 乱俵見込、右御直段二而御買請可仕候

御払粃 貳百九拾八俵 大痛俵

内百貳俵 乱俵 但壹俵三四升方八九升位砂交入

一 金壹両二付 粃四拾九俵九分

内壹分 御吟味二付増

残四拾九俵八分

乱俵見込、右御直段二而御買請可仕候

右は松平越中守様江戸御城米船難船、書面之①御米粃三百四拾  
貳俵、所御払之積、近村々入札被仰触、入札人共大勢罷出、御米  
粃見届候処、更ニ米性無之、朽痛、夫食具合は勿論、引取売捌方  
無之、駄賃其外入用相掛り候処、致方無御座候段申立、村々多人  
數買請御免相願候二付、外ニ御糺方御座候得共、②何分望人無之



二付、村買請被仰渡候得共、村方ニ而も米性失ひ候品引請致方無御座、難儀ニは御座候得共御利解之趣も有之、且又所役と奉存候

候間、御払被仰付候様仕度奉存候  
右糶増之上江猶又増方御吟味御座候而は御買請御免奉願候外無御座候、依之村役人連印奉差上候、以上

辰十月

当御支配所

豆州賀茂郡長津呂村

百姓代 与仁右衛門

組頭 与七郎

名主 勝次郎

江川太郎左衛門様御手代

山田頼助様

【史料5】「定」(『徳川禁令考』)、元和七年(一六二一)八月

定

一 西国諸大名上下之船損風波砌、諸色不及沙汰、穀物共不可捕散、若猥少分成共於散は雖以來聞出、曲事可申付事

一 売買之廻船難風之砌は出助船、可令介抱、其上不相叶儀は不及了簡事

一 廻船破損之節、其場え於奉公人は不因上下、一切不可出会、併浦々立会、廻船之作法に可指引事

右条々被定置訖、若於違背之輩は忽可被処嚴科之旨、依仰下知如件

元和七年八月日

【表】長津呂浦で救助された難船一覧

| 番号 | 年月日         | 西暦   | 船籍(船員数)             | 積荷                                   | 海難           | 長津呂浦の対応  |
|----|-------------|------|---------------------|--------------------------------------|--------------|--|
| 1  | 天和元年11月18日  | 1681 | 土佐田野浦左平船(6人乗)       | 紀州宮崎蜜柑1500籠                          | 漂流           | 曳入   |
| 2  | 天和3年9月27日   | 1683 | 大坂金屋幸之助船            | 塩2035俵(残余分)                          | 漂流           | 曳入／荷物の管理、飛脚の派遣   |
| 3  | 元禄4年5月14日   | 1691 | 仙台門脇吉右衛門船(11人乗)     | 仙台陸奥守様御米945俵                         | 漂流           | 曳入／荷物の管理   |
| 4  | 元禄16年12月22日 | 1703 | 駿河焼津五左衛門船(5人乗)      | 太田摂津守米450俵ほか                         | 港内破船<br>(津波) | 取揚げ、荷物の管理、入札買取(中木村)                                    |
| 5  |             |      | 駿河焼津伊左衛門船(4人乗)      |                                      |              |  |
| 6  |             |      | 駿河焼津儀兵衛船(5人乗)       |                                      |              |  |
| 7  | 宝永4年1月      | 1707 | 尾張名古屋吉左衛門船          | 米、クレ                                 | 破船           | 取揚げ  |
| 8  | 天明5年6月6日    | 1785 | 奥州南部山田浦惣治郎船         | 魚粕、魚油                                | 難船           |  |
| 9  | 寛政10年10月1日  | 1798 | 遠江掛塚八三郎船(7人乗)       | 大河内彦兵衛御用米                            | 難船           | 沢手米当所買取  |
| 10 | 文政元年1月6日    | 1818 | 薩摩阿久根浦直乗吉左衛門船(18人乗) | 松平豊後守(薩摩藩9代藩主・島津斉興)米・大豆              | 難船           | 曳入／相対で処理   |
| 11 | 天保10年9月15日  | 1839 | 尾張師崎直乗船頭善太夫船(13人乗)  | 尾張藩御用木、年貢廻米、材木、瀬戸物、町人荷物な             | 難船           | 曳入／荷物の管理、飛脚の手配   |
| 12 | 弘化3年7月3日    | 1846 | 摂津鳴尾浦半右衛門船(16人乗)    | 彦根藩井伊年貢廻米、姫路藩産物、木綿商人荷物ほか             | 火事           | 荷物の管理(「浜囲」、「川漬」)、取揚げ、飛脚の手配、当所買取                        |
| 13 | 弘化3年9月2日    |      | 安芸広島庄兵衛船(10人乗)      | 広島藩年貢廻米、鉄、紙、傘、煙草、家中荷物                | 火事           | 消火、荷物の管理(「川漬」)、取揚げ、飛脚の手配／当所買取                          |
| 14 | 午(弘化3)9月24日 |      | 伊豆久料村伝兵衛船(11人乗)     | 名古屋表の材木                              | 難船           |  |
| 15 | 午(弘化3)9月    |      | 遠江川崎直乗源十郎船(7人乗)     |                                      | 難船           |  |
| 16 | 弘化3年12月2日   |      | 豊後三佐浦直乗千代吉船(11人乗)   | 中川修理大夫年貢廻米、畳                         | 漂流           | 曳入／荷物の管理(「川漬」)、取揚げ、飛脚の手配／当所買取                          |
| 17 | 弘化4年12月21日  | 1847 | 越後潟町六右衛門船(10人乗)     | 仙台藩年貢廻米                              | 難船           | 拝借金  |
| 18 | 嘉永元年6月      | 1848 | 伊豆戸田村市右衛門船          | 尾張藩用材                                | 破船           | 取揚げ  |
| 19 | 嘉永2年6月22日   | 1849 | 尾張中洲直乗船頭増蔵(8人乗)     | 中川修理大夫御荷物                            | 破船           | 取揚げ(海士)  |
| 20 |             |      | 伊豆須崎吉右衛門船(8人乗)      | 本丸御用炭                                | 難船           |  |
| 21 |             |      | 淡路中津川直乗久米吉船(7人乗)    |                                      | 難船           |  |
| 22 | 嘉永3年7月8日    | 1850 | 大坂安治川直乗重蔵船(15人乗)    | 御用銅、御用白砂糖                            | 難船           | 曳入   |
| 23 | 嘉永3年8月28日   |      | 摂津兵庫直乗市左衛門船(16人乗)   | 御用銅、松平主殿頭御廻米(307俵)、立花左近将監ほか御用荷物、町人荷物 | 難船           | 曳入／飛脚の手配(葦山役所)、荷物の管理(縄張、封印)、船修復                        |
| 24 | 嘉永5年1月24日   |      | 伊勢白子直乗逸吉船           | 桑名藩荷物、町人荷物                           | 難船           | 曳入／捨荷なし  |
| 25 | 嘉永5年6月2日    |      | 大坂薩摩堀平三郎船(12人乗)     | 伊達遠江守ほか御用荷物、町人荷物                     | 難船           | 曳入／飛脚の手配(葦山役所浦賀番所、江戸)、荷物の管理(縄張、封印、村預)、荷主惣代の吟味／当所買取(濡米) |
| 26 | 嘉永5年8月10日   |      | 駿河清水湊市兵衛船           | 魚油、醤油、唐土、大豆、小麦など                     | 難船           | 当所買取(商品、元船)  |

|    |            |      |                         |                           |                 |  |
|----|------------|------|-------------------------|---------------------------|-----------------|--|
| 27 | 嘉永7年11月2日  | 1854 | 伊豆足保村仁右衛門船(9人乗)         | 御用丸石、真木、炭                 | 港内破船<br>(高浪)    | 介抱・手当、溺死人の処理(守源寺)、荷物の管理、取揚げ、飛脚の手配(葦山役所、荷主)、浦廻状(大瀬～下田)、船具                                   |
| 28 | 安政2年8月14日  | 1855 | 安房弥右衛門船(4人乗)            |                           | 難船              | 飛脚の手配(葦山役所)、荷主惣代の吟味  |
| 29 | 安政2年8月20日  |      | 尾張常滑直乗七太郎船(1300石積、11人乗) | 塩(7200俵)、煙草(60箱)、綿(20箱)ほか | 港内破船<br>(高浪)    | 介抱、荷物の管理、取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)   |
| 30 |            |      | 摂津御影浦弥平次船               |                           | 港内破船<br>(高浪・衝突) | 船修復  |
| 31 | 安政2年12月22日 |      | 江戸八丁堀吉兵衛船(4人乗)          | 駿河沼津川領主様廻米(100俵)、町人荷物ほか   | 難船              | 曳入／荷物の管理、飛脚の手配(葦山役所、積問屋)   |
| 32 | 安政3年8月25日  | 1856 | 伊豆石井村 慶助船(7人乗)          |                           | 港内破船<br>(高浪)    | 介抱、荷物の管理、取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)、浦廻状   |
| 33 |            |      | 尾張富木 平右衛門(9人乗)          |                           | 港内破船<br>(高浪)    | 介抱、荷物の管理、取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)、浦廻状   |
| 34 |            |      | 安芸因島 直乗直助(19人乗)         | 空船                        | 港内破船<br>(高浪)    | 取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)、医師手配／溺死人を「最寄寺院」で管理   |
| 35 |            |      | 大坂江之子嶋 忠五郎船(9人乗)        | 材木                        | 港内破船<br>(高浪)    | 飛脚の手配(葦山役所、荷主)   |
| 36 |            |      | 紀伊富田浦 直乗松蔵(11人乗)        | 空船                        | 港内破船<br>(高浪)    | 取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)  |
| 37 |            |      | 周防大嶋郡久賀浦 直乗次兵衛(12人乗)    | 松平越中守御用荷物                 | 港内破船<br>(高浪)    | 取揚げ、荷物の管理(「川漬」)、飛脚の手配(葦山役所)、浦廻状／溺死人を「最寄寺院」で埋葬、海士による追加取揚げ、「川漬」米を入札買取、とくに痛みがひどいものは「村買請御払」もあり |
| 38 |            |      | 駿河焼津 徳田屋甚四郎船(4人乗)       | 茶ほか                       | 港内破船<br>(高浪)    | 介抱、取揚げ、飛脚の手配(葦山役所、荷主)、浦廻状  |
| 39 |            |      | 尾張亀崎 直乗安吉(13人乗)         |                           | 港内破船<br>(高浪)    | 取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)／溺死人を「寺院境内」で管理  |
| 40 |            |      | 播磨赤穂 長之助船(14人乗)         | 赤穂塩5431俵ほか                | 港内破船<br>(高浪)    | 取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)  |
| 41 |            |      | 安芸広島 庄右衛門船(12人乗)        | 松平安芸守廻米ほか                 | 港内破船<br>(高浪)    | 取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)、浦廻状、積み替え   |
| 42 |            |      | 摂津兵庫 弥兵衛船(9人乗)          | 塩、瀬戸物                     | 港内破船<br>(高浪)    | 取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)、浦廻状  |
| 43 |            |      | 大坂富嶋 辰之助船(16人乗)         | 砂糖、油、蠟ほか                  | 港内破船<br>(高浪)    | 取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)、浦廻状  |
| 44 |            |      | 摂津御影 弥平次船(16人乗)         | 酒井雅楽頭廻米・材木ほか              | 港内破船<br>(高浪)    | 取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)、浦廻状  |
| 45 |            |      | 日向徳ヶ淵浦 島津淡路守手船(15人乗)    | 島津淡路守御用荷物、同家中荷物           | 港内破船<br>(高浪)    | 取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)、溺死人の「仮埋」／下田で船修復  |

|    |            |                        |                                |              |                                      |
|----|------------|------------------------|--------------------------------|--------------|--------------------------------------|
| 46 |            | 安房岩船 直乗長七船(5人乗)        |                                | 港内破船<br>(高浪) | 取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)、浦廻状                  |
| 47 |            | 安房岩船 直乗幸右衛門船(5人乗)      |                                | 港内破船<br>(高浪) |                                      |
| 48 |            | 浦賀 直乗吉右衛門船(5人乗)        |                                | 港内破船<br>(高浪) | 取揚げ、荷物の管理、飛脚の手配(葦山役所)                |
| 49 |            | 伊豆石井村 伊兵衛船(4人乗)        |                                | 港内破船<br>(高浪) | 介抱・手当、取揚げ、荷物の管理、飛脚の手配(葦山役所)          |
| 50 |            | 駿河小須 直乗惣右衛門(3人乗)       | 御武家様御荷物ほか                      | 港内破船<br>(高浪) | 取揚げ、荷物の管理、飛脚の手配(葦山役所、荷主)             |
| 51 | 安政4年1月20日  | 江戸北新堀留之助船              | 赤穂塩、備中表ほか                      | 難船           | 曳入／飛脚の手配(荷主)                         |
| 52 | 安政4年5月28日  | 伊豆子浦勝次郎船(4人乗)          | 杉板ほか                           | 難船           | 荷物の管理、飛脚の手配(葦山役所、荷主)                 |
| 53 | 安政4年9月12日  | 駿河柳津七兵衛船(3人乗)          | 薩摩芋                            | 難船           | 曳入／？                                 |
| 54 | 安政6年3月12日  | 駿河柳津七兵衛船(3人乗)          | 水野出羽守廻米(100俵)、町人荷物ほか           | 破船           | 取揚げ、荷物の管理(浜囲)、飛脚の手配(葦山役所、荷主)／当所買取    |
| 55 | 安政6年11月15日 | 紀伊鶴殿浦直乗儀助船(12人乗)       | 水野土佐守材木荷物(1350俵)、町人荷物ほか        | 難船           | 曳入／飛脚の手配(葦山役所、廻船問屋)、浦廻状／船修復、再積       |
| 56 | 安政7年3月17日  | 日向高岡町平助船(11人乗)         | 松平修理太夫廻米(600石)                 | 難船           | 飛脚の手配(葦山役所)                          |
| 57 | 万延元年5月5日   | 尾張中州兵太郎船(13人乗)         | 秋田様荷物、鍋島様荷物、米(1800俵)ほか         | 港内傷船         | 陸揚げ、荷物の管理(浜囲)／船修復、海士を雇って船道具などを探索     |
| 58 | 万延元年5月11日  | 尾張亀崎浦直乗菊次郎船            | 本多様・板倉様。内藤様廻米、大岡様木綿ほか          | 港内傷船         |                                      |
| 59 |            | 江戸船松町半兵衛船(4人乗)         | 紀伊様荷物ほか                        | 港内傷船         | 乗組員村預                                |
| 60 | 万延元年11月25日 | 豊後三佐浦直乗伝五郎船(14人乗)      | 中川修理太夫廻米(850石余)・材木300本ほか       | 難船           | 曳入／荷物の管理(村預)、飛脚の手配(葦山役所、廻船問屋)、浦廻状    |
| 61 | 文久元年3月4日   | 安芸木谷浦万助船(16人乗)         | 紀伊様荷物ほか                        | 難船           | 曳入／                                  |
| 62 | 文久元年4月5日   | 摂津御影浦留蔵船               | 姫路藩国産木綿                        | 火事           | 取揚げ、干立                               |
| 63 | 文久2年3月8日   | 摂津伝法平次郎船(16人乗)         | 備中幕領廻米                         | 難船           | 救助(摂津御影浦弥平次船水主4人を)、入津／飛脚の手配(葦山役所)、干立 |
| 64 | 文久2年6月16日  | 遠江掛塚兵左衛門船(5人乗)         | 屋根板                            | 転覆           | 救助／飛脚の手配(葦山役所)、村預／元船は国安村に漂着、船は「浜仕舞」  |
| 65 | 文久2年7月25日  | 江戸鉄砲洲本湊町大嶋屋三右衛門船(13人乗) | 御用炭(350俵)、炭(3431俵)、真木(3120束)ほか | 港内破船<br>(高浪) | 介抱・手当、取揚げ、荷物の管理、飛脚の手配(葦山役所)、浦廻状／当所買取 |
| 66 |            | 大坂魚屋町和兵衛船(16人乗)        | 御用銅、姫路産物木綿ほか                   | 港内破船<br>(高浪) | 介抱・手当、取揚げ、荷物の管理、飛脚の手配(葦山役所)、浦廻状／当所買取 |
| 67 | 文久2年10月17日 | 江戸深川嶋崎町徳九郎船(14人乗)      | 南部藩御台所荷物                       | 難船           | 曳入／飛脚の手配(葦山役所、廻船問屋)、浦廻状／上乘勘蔵の介抱・仮埋、  |
| 68 | 文久3年8月19日  | 駿河清水湊平右衛門船             |                                | 難船           | 下田湊へ曳航                               |
| 69 | 文久3年9月25日  | 大坂安治川五郎船(15人乗)         |                                | 難船           | 曳入／                                  |

|    |                 |                  |                     |                                     |                 |  |          |                     |
|----|-----------------|------------------|---------------------|-------------------------------------|-----------------|--|----------|---------------------|
| 70 | 文久3年9月25日       | 1863             | 摂津兵庫重兵衛船(15人乗)      | 江戸町人荷物                              | 難船              | 曳入／荷物の管理(船方・村方合番)、飛脚の手配(葦山役所、江戸荷主、廻船問屋)、船員村預、浦廻状／沖船頭の自殺対応、当所買取(酒)、船の修復 |          |                     |
| 71 | 文久3年12月23日      |                  | イギリス船(15人乗)         |                                     | 沈船(中木浦沖)、漕付     | 「浦継」で横浜まで連行／船主溺死   |          |                     |
| 72 | 文久3年12月26日      |                  | 駿河清水湊喜右衛門船(5人乗)     | 増田安兵衛様代官所廻米                         | 難船              | 曳入／入釜汲捨、船修復  |          |                     |
| 73 | 元治元年8月9日        | 1864             | 伊勢桑名敦賀屋安次郎船(9人乗)    | 岩田鞆三郎様代官所美濃国年貢廻米、御書物、朱丸御            | 港内破船(時化)        | 取揚げ、荷物の保管(川漬)／当所買取(川漬御米)   |          |                     |
| 74 |                 |                  | 尾張半田直乗徳三郎船(11人乗)    | 江戸送り酒・焼酎ほか                          | 港内破船(時化)        | 荷物の保管  |          |                     |
| 75 |                 |                  | 駿河石部惣八船(5人乗)        | 駿河丸子御用炭、松平能登守御荷物、松前修理家中中野左内御荷物      | 港内破船(時化)        | 取揚げ、荷物の保管(村預)／当所買取   |          |                     |
| 76 |                 |                  | 遠江福田定右衛門船(5人乗)      | 瀬戸物、箱茶ほか                            | 港内破船(時化)        | 「捨浜」「浦仕舞」  |          |                     |
| 77 |                 |                  | 遠江福田直乗芳蔵船(3人乗)      |                                     | 港内破船(時化)        |  |          |                     |
| 78 |                 |                  | 駿河沼津直乗平三郎船(4人乗)     |                                     | 港内破船(時化)        | 取揚げ  |          |                     |
| 79 |                 |                  | 駿河清水清兵衛(万右衛門)船(4人乗) |                                     | 港内破船(時化)        | 取揚げ、飛脚の手配(葦山役所)  |          |                     |
| 80 |                 |                  | 紀伊栖原角右衛門船(8人乗)      |                                     | 港内破船(時化)        |  |          |                     |
| 81 |                 |                  | 伊豆大沢善右衛門船(8人乗)      |                                     | 港内破船(時化)        |  |          |                     |
| 82 |                 |                  | 尾張亀崎直乗亀吉船(11人乗)     | 稲垣藤九郎様廻米、本多美濃守様廻米石川伊予守様廻米、山口内近様廻米ほか | 港内破船(時化)        | 取揚げ、船修復  |          |                     |
| 83 |                 |                  | 慶応2年8月7日            | 1866                                | 伊豆戸田浦七右衛門船(6人乗) | 町人荷物ほか   | 港内破船(時化) |                     |
| 84 |                 |                  |                     |                                     | 伊豆江那村佐吉船        | 天城山御用炭、尾張様江戸屋敷炭ほか  | 港内破船(時化) | 取揚げ／当所買取、再積         |
| 85 |                 |                  |                     |                                     | 伊豆松崎村宇七船(5人乗)   |  | 港内破船(時化) | 陸揚げ／当所買取            |
| 86 |                 |                  |                     |                                     | 駿河清水湊九右衛門船(4人乗) | 茶  | 港内破船(時化) | 当所買取                |
| 87 | 摂津今津直乗利七船(17人乗) | 島原藩廻米、酒(3249樽)ほか |                     |                                     | 港内破船(時化)        | 取揚げ、荷物の管理(川漬)、浦廻状／当所買取、再積  |          |                     |
| 88 | 慶応2年12月9日       |                  |                     |                                     | 摂津御影浦松三郎船(16人乗) |  | 火事       | 火事／消火、飛脚の手配(葦山役所)   |
| 89 | 慶応3年1月9日        | 1867             |                     |                                     | 紀伊新宮浦幸之助船(12人乗) | 材木、炭板  | 難船       | 飛脚の手配(葦山役所、江戸廻船問屋)、 |

|    |            |      |                   |             |              |              |
|----|------------|------|-------------------|-------------|--------------|--------------|
| 90 | 慶応3年10月7日  | 1867 | 伊勢大湊彦吉船(11人乗)     | 米(500俵)、茶ほか | 難船           | 曳入／          |
| 91 |            |      | 相模西浦賀徳次郎船(4人乗)    |             | 港内傷船<br>(高浪) | 陸揚げ／船修理      |
| 92 | 慶応4年6月23日  | 1868 | 駿河清水湊平兵衛船(4人乗)    |             | 港内傷船<br>(高浪) | 陸揚げ／船修理      |
| 93 |            |      | 紀伊新宮浦恵三郎船(8人乗)    | 廻米          | 港内傷船<br>(高浪) |              |
| 94 | 明治6年1月27日  | 1873 | 尾張知多郡半田村康保丸       |             | 破船           | 助船／浦廻状、溺死人対応 |
| 95 | 明治6年       |      | 遠江焼津港鷺野武重郎船       |             | 難船           |              |
| 96 | 明治7年8月25日  | 1874 | 尾張知多郡宮村瀬金兵衛船(5人乗) |             | 難船           | 浦廻状          |
| 97 | 明治7年10月25日 |      | 駿河清水町小川藤兵衛船(4人乗)  |             | 難船           | 曳入／          |

[出典] 渡辺守男『石廊崎小沢氏所蔵文書 長津呂浦における海難文書 天和年間より明治初期まで』（南伊豆町教育委員会、1999年）

[註] 年代不明の案件については省略した。